

こども
子供のインターネットバイブル

あんない
案内いたします



おう
王さまダビデ
(その2)



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Lazarus

かいさくしゃ
改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki
監修者: Dan Ellrick

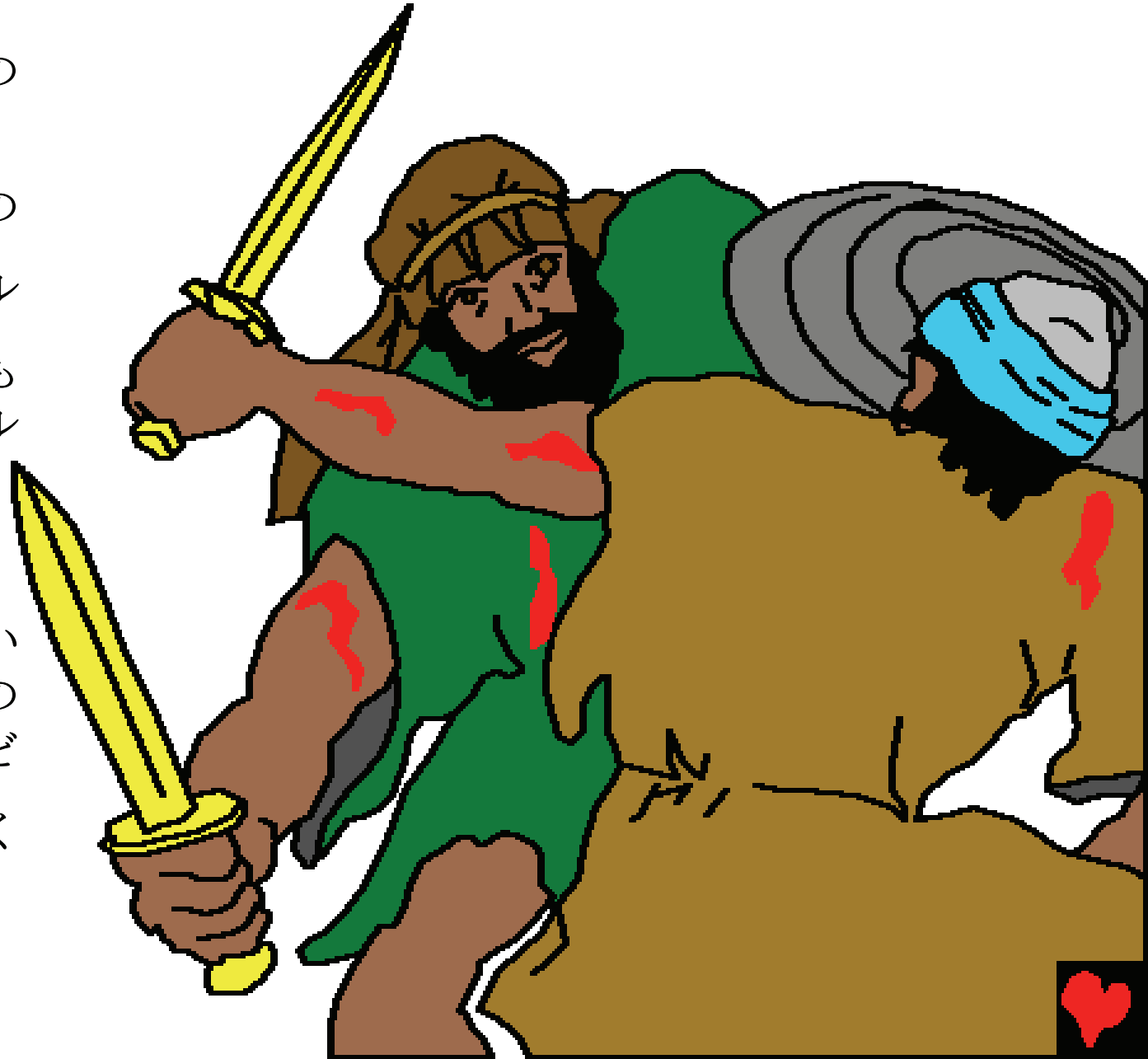
しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children
www.M1914.org

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
きよか
許可されています



おう
ダビデは、ユダの王さま
となりましたよ。
ちょうどパレスチナの
みなみ ち
南の地です。でも、
のこりのイスラエルの
とち
土地は、みんなサウル
こ
の子イシュボセテのも
のでした。イスラエル
ふたり
での2人のたたかいは、
とてもはげしく、
ねん
7年ものあいだつづいた
のです。さて、その
あいだにダビデは ど
つよ
んどん、どんどん強くな
っていきましたよ。

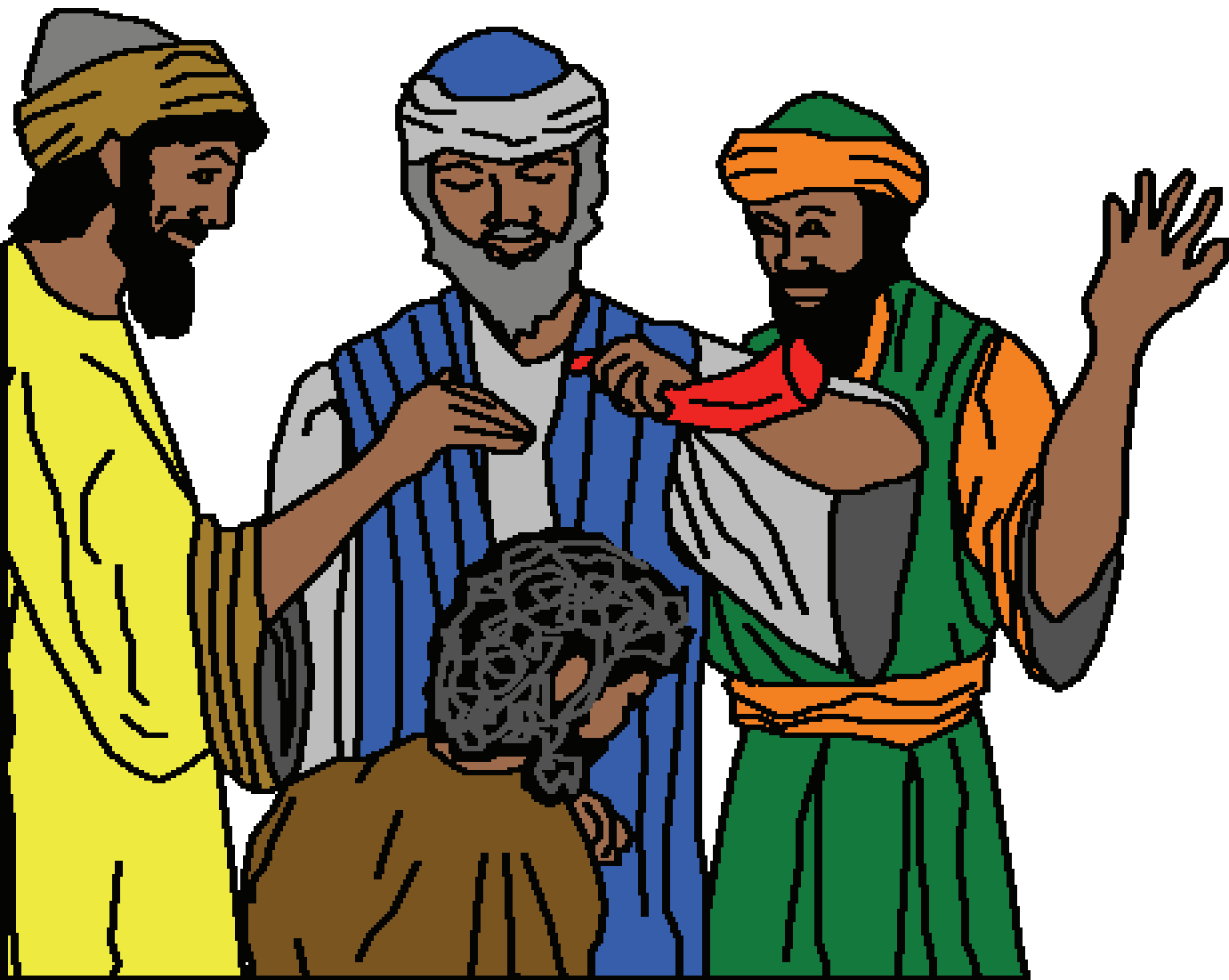




あるとき、イシュボセテ王は、と
おう
じぶん ふたり へいし
うとう自分の2人の兵士にころさ
れてしまいました。

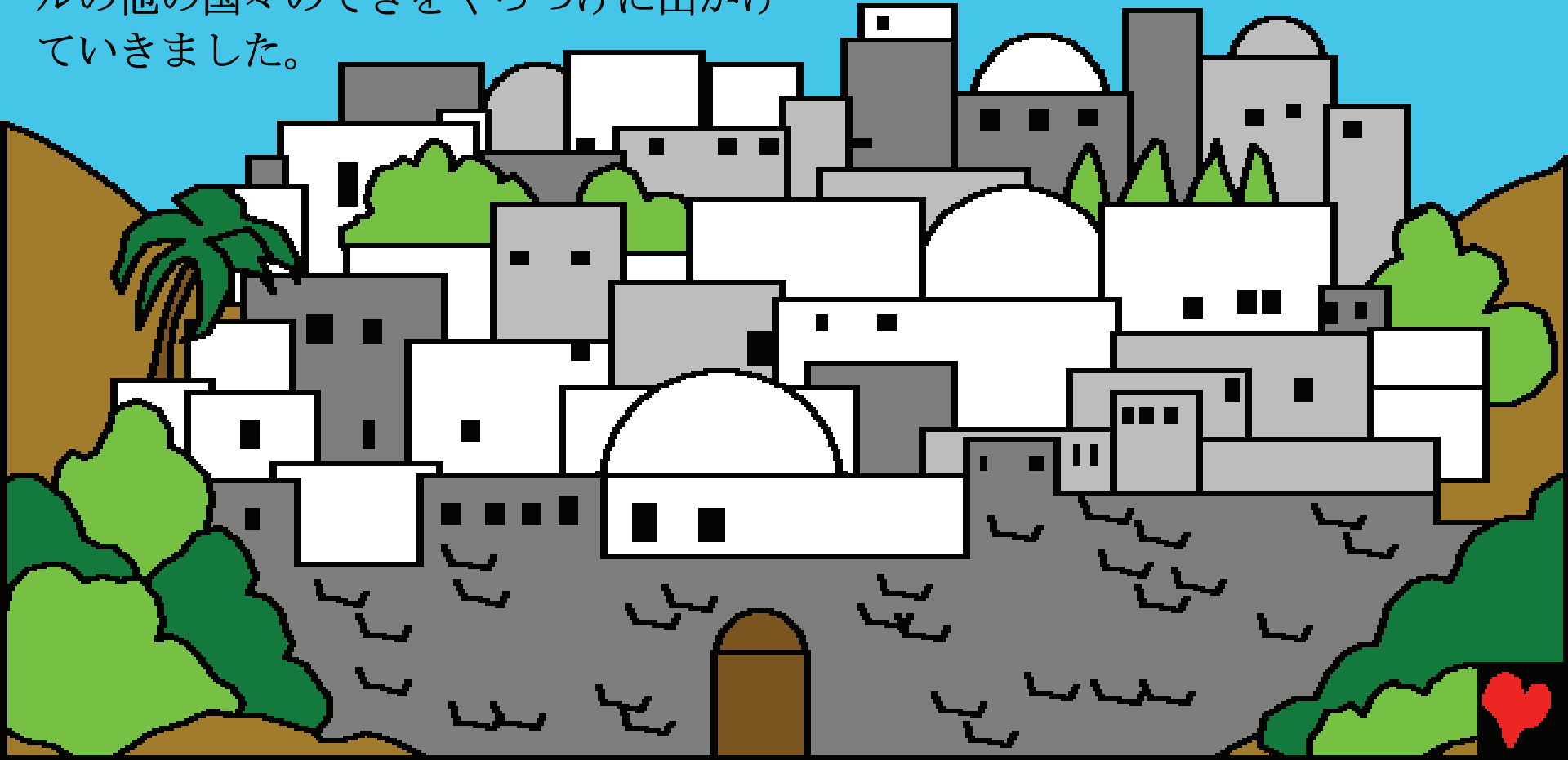


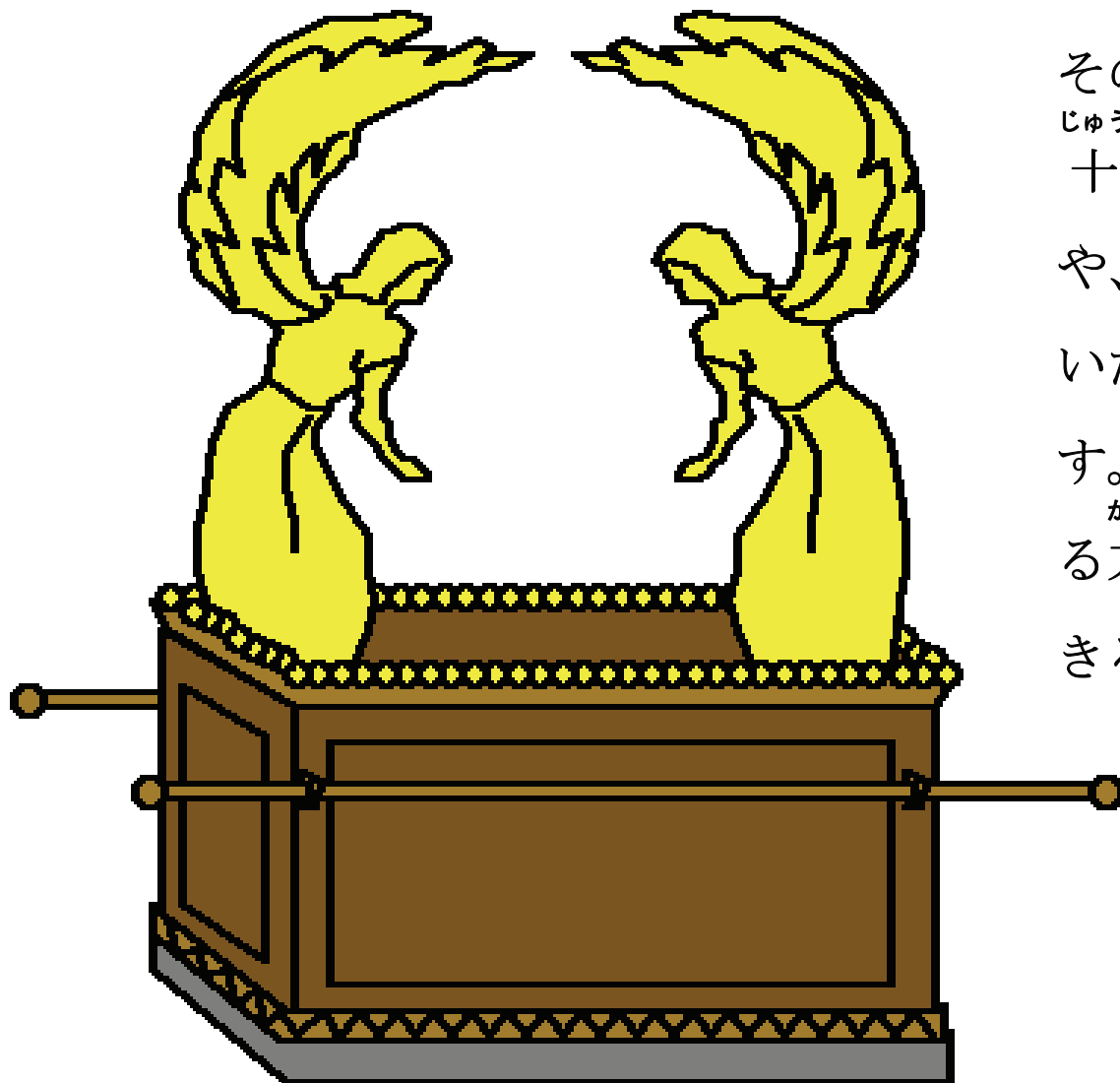
すると、イスラエルのすべての12の部族がみんなダビデのところにあつま^{ぶぞく}って
きて、こう言^いいました。「われわれの王^{おう}だ、イスラエルの王^{おう}さまだ！」って。そ
れからず^{くに}っと、ダビデは、このイスラエルのすべての国^{おう}の王^{おう}さまでした。



みやこ

さて、ダビデがいちばんはじめにしたことは、エルサレムに都をうつすこと
した。その町は、のちにダビデの町としてみんなに知られるようになりました
よ。ダビデは、ここを、どんな強いてき^{つよ}が攻めてきてもだいじょうぶなように、
たてなおしました。ダビデの軍たいは、いつもここから、ペリシテ人やイスラエ
ルの他の国々のてきをやっつけに出かけ
ていきました。





おう
ダビデ王が、そのつぎにしたこ
かみ
とは、神のはこを、エルサレム
にはこんでくることでした。
かみ かみ
その神のはこには、神さまの
じゅう か
十のやくそくが書かれたもの
かみ
や、モーセが神さまからいただ
もの はい
いたそのほかの物も入っていま
かみ せい
す。そのはこは、神さまが聖な
かた かみ い
る方で、神さまにしたがって生
ひとびと
きることを、イスラエルの人々
おも だ
に思い出させました。





ダビデが王さまになってから、はじめ
のころは、まいにち戦たたかいばかりでし
た。ダビデは、とてもかしこい兵士へいしで
あり、それに決けっしていばらない人ひとでし
た。かれは、「神さま、どうすればい
いのですか。おしえてください。」
と、いつも祈いのっていました。





あるとき、ダビデは、自分^{じぶん}がとて
もよい家^{いえ}にすんでいるのに、神^{かみ}さ
まのはこ^{なか}が、テントの中におかれ
たままになっていることに、気^きが
つきました。そこで、ダビデは神^{かみ}さま
の家の^{いえ}をたてようと決めま
した。神^{かみ}さまのよげん者^{しや}ナ
タン^いは、言いました。
「ダビデさま、どう
ぞそうなさってく
ださい。」





でもね、その夜、神さま
は、ダビデに神のことば
をつたえられましたよ。
それは、このようなも
のでした。「わたしの
しもべダビデよ、主
が、あなたに家をつ
くってくださるのだ。
あなたのこの世での生活
がおわり、あなたの父や
祖父といっしょになったとき、
わたしは、あなたの子をつぎの王
とするつもりだ。その子は、わたしの名によって家をたて、その国はずっとつづ
いていけだろ。またいつまでも王の位をあたえるだろ。」



ダビデは、もしサウルの家ぞくが生きのこっているなら、助けたいと思いま
した。さがしているうちに、ただひとりヨナタンの子メフィボシェトだけ、見つけ
ることができました。かれは、足が悪くあるくことができません。「メフィボ
シェト、あなたは王のむすこのようなもの。さあ、わたしのテ
ーブルでいっしょに食事をしよう。」

このように言って、ダビデはメフィボ
シェトにほんとうにやさしくしてあ
げました。どうしてって、
かれはダビデのいちばん
仲よしヨナタンのむす
こですからね。





ダビデは、こころから神さまを信じ、
したがって生きていました。だから、
神さまは、いつもダビデを助けてくださり、
すべてがうまくいきましたよ。
ところがある日、ダビデは、とつぜん
とても悪いことをしてしまうのです。
そのときちょうど、かれの軍たいは、
戦いに出かけてしまい、ダビデだけが
エルサレムにのこっていました。





ある夜のこと、ダビデはどうしても眠
れませんが、かれは家のいちば
ん上まであがり、ぼんやりと町のよう
すをながめていました。



「おやっ、いったいだれなのだろう。」ダビデは、そこから見えたとてもうつく
しい女おんなの人が、気きになってたまりません。かの女じよは、
水みずあびをしていますよ。その人ひとの名なは、バテシバ。
すっかりバテシバすが好きすになってしまったダビ
デは、かの女じよに夫おとがあるのに、とうとう罪つみをお
かしてしまっおとたのです。じつは、バテシバの夫
ウリアは、ダビデの勇ゆうかな兵士へいしのひとりでした。
しばらくして、バテシバは、おなかにダビデの
子こがいることを話はなしましたよ。さあ、たいへん
なことになってしまいました。ダビデは、
自分の罪じぶんがもっつみともっとやっかいなこと
になっていくのがわかりました。





「なんとかしなければ・・・。」

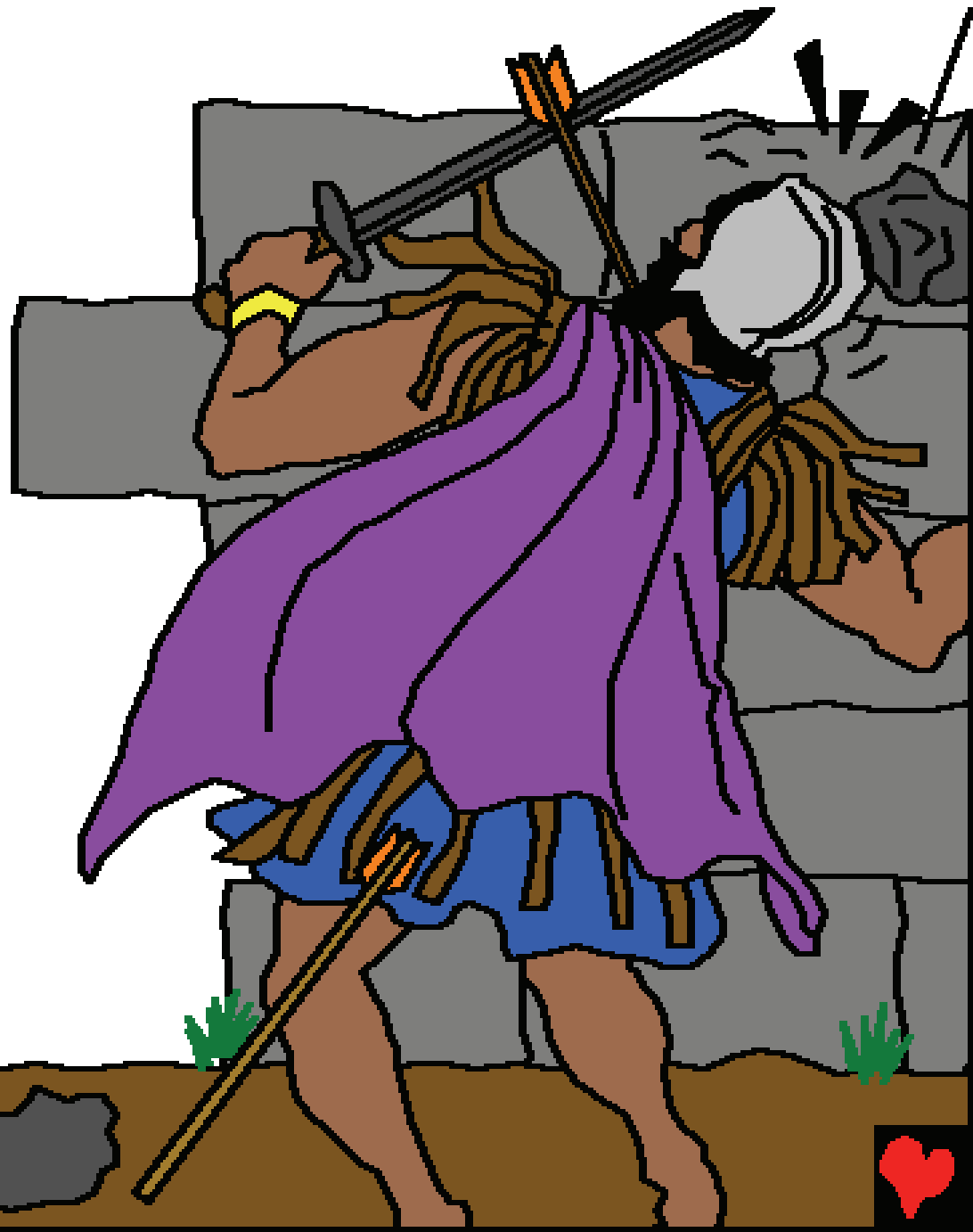
おも そう思ったダビデは、じぶん つみ 自分の罪を
かみ 神さまにあやまるかわりに、その
つみ 罪をかくそうとしたのです。そんな
わる 悪いことは、

たたか ち うまくいくはずがないのにね。とにかく、ダビデは戦いの地にい
よ い いえ やす るウリアを呼び、こう言いました。「家にもどって、ゆっくり休むように。」そ
じよ あか じぶん れは、ウリアがバテシバとすごすと、かの女のおなかにいる赤ちゃんを、自分の
こ おも いえ やす 子と思うだろうとかがえたからです。ところが、ウリアは家でゆっくり休みた
へいし たたか くありません。なぜなら、かれのなかまの兵士が、戦ってるのですからね。

よる おう いえ と ウリアは、その夜、王の家の戸のところで、ねむりました。



そこでダビデは、もっともつと
わる
悪いことをしてしまったので
す。ダビデは、ウリアが戦い
ち
の地にもどるとき、軍のリー
ぐん
ダーにてがみをもたせたので
か
す。そのてがみには、こう書か
たたか
れていました。「戦いあいだ
ころ
に、かならずウリアを殺すの
ころ
だ。」とね。ウリアが殺され
じぶん
て、ダビデはバテシバを自分の
おくさんにしたのです。



かみ 神さまは、しもベナタンに言われました。「ダビデに、かれのおかした罪を教え
つみ おし
てあげなさい。」そこで、ナタンはダビデにひとつのお話をしました。たいへ
はなし
んなお金もちの人と、貧しい人のお話ですよ。お金もちは、たくさんのヒツジ
かね まず ひと はなし かね

をもっていました。けれども、貧しいひとは、
まず

たった1ぴきの子ヒツジしかいません。貧しい
まず

ひと こ 貧しい
じぶん
人は、その子ヒツジをまるで自分の
むすめのように、だいじにして
いました。



あるとき、ひとりのたび人が、お金もちのところに行ってきました。けれども、
そのお金もちかねは、たび人びとにごちそうするため、かれのヒツジを1ぴきもころさな
かったのです。そのかわり、お金もちかねは、貧しい人まずの1ぴきしかいない子こヒツジ
を取って、ころして、たび人にごちそうしたのです。

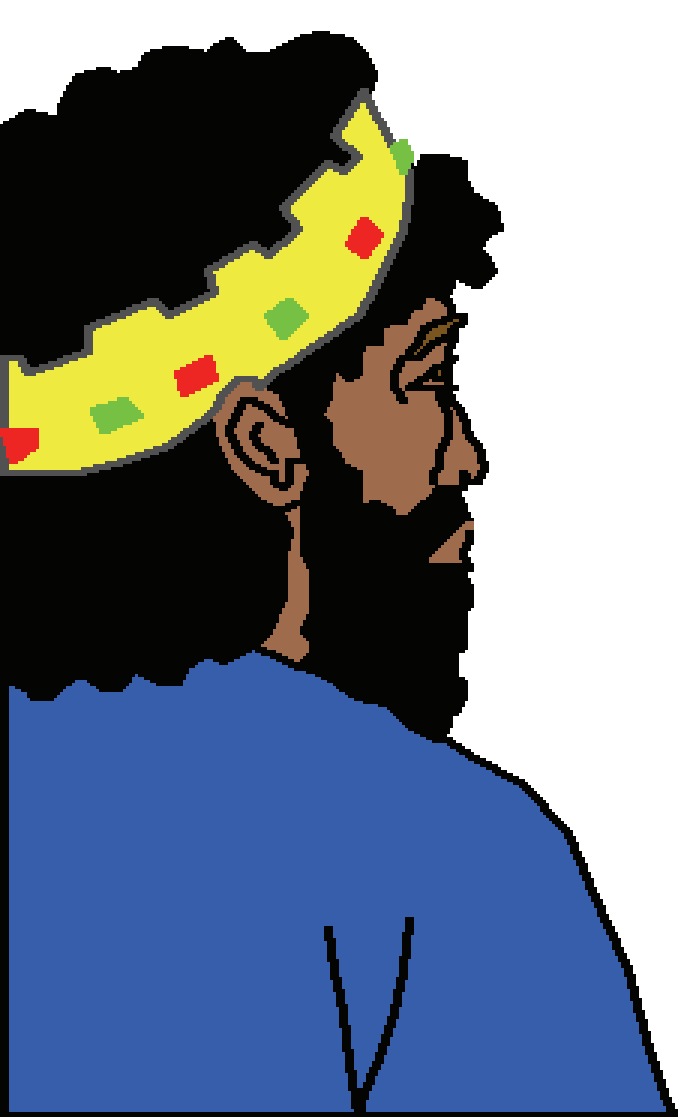




ダビデはおこりました。「その金も
ちは、なんて悪いやつだ！」そして
さげびました。「そんなことをする
やつは、きっと死んでしまうこと
になるだろう。」



「ダビデさま、あなたこそ、その悪いやつなのです。」ナタンは、ゆう気をだ
してダビデに、きっぱりこう言いました。ダビデのやったことは、この金もち
がやったことより、もっともつと悪いことなのですからね。





かみ おし
神さまは、ダビデに教えられました。
た。ダビデのしたことは、どんな
にひどいことかということ。そ
れでダビデは、^{じぶん}自分のおかした罪^{つみ}
がよくわかり、^{こころ}心から神さまにあ^{かみ}
やまりました。「神さま、わたし
はあなたにそむいて、こんなにも
^{わる}悪いことをしてしまったのです。
どうぞ、おゆるしてください。」神^{かみ}
さまは、ダビデの罪をゆるし^{つみ}
てくださいましたよ。けれど
も、^{あか}バテシバの赤ちゃん
は、^{びょうき}病気になり、^う生まれ
てからすぐに死んでし
まいました。





かみ

神さまは、ダビデのそのひど

つみ

い罪をゆるしてくださいまし
た。しばらくして、バテシバ

つき こ

に次の子ができました。その

こ な

子の名は、ソロモン。かれ
が、ダビデのあとすばらしい

おう

王になるのです。ダビデは、

こ

それからもたくさんの子をあ
たえられましたよ。でも、

なんにん

こども

何人かの子供たちは、ダビデ
をととてもかなしませること
になるのですけれど。



おう
王さまダビデ (その2)

かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

げ しょう しょう
サムエル記下 1 章 -12 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪とよばれています。その罪のむくいは、死です。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところの中に住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしよに生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこういってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛す神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなっ
てくださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いらっしゃいます。どうか、私のところの中に来て、罪をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命をいただけます。そして、いつか、あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしよにい
ることができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きることができるよう、たす
けてください。アーめん

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましよう！ ヨハネによる福音書3：1 6

